学校番号	204

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	工芸Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「　工芸Ⅱ」　（日文出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・単元ごとの目標を理解し、想像力をもとに一人ひとりの答えを見つける能力を身につける。
・自分が作りたい作品を、どうしたら安全に、どうしたらキレイに、を常に頭に置き、限られた時間をいかに有効に使うか？　いかに映えさせられるか？　を表現する能力を養う。
・物を作る心を養うと同時に、他人を思いやる心、物を作る環境を考える心を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・テーマに沿った作品を完成させる能力。
【思考力、判断力、表現力等】
・世界に一つしかないオリジナルな作品を通して空間概念を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・自分が表現したいこと、他人が表現したいことをしっかりと理解する能力を身につけると共に、他人が製作する空間を壊さない他人を思いやる能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各学期設定の目標のクリアする能力を養う。 ・作品を成させる能力を養う。 ・種々ある技法の中より部位に使用する表現したい技法が正しく選択できる。	・設定される目標から、表現したいものを作り上げていくための技法が正しく選択できる。 ・何種類もある道具の中から正しい道具を選択する能力を身につける。 ・２次元のアイデアから３次元の立体制作する空間概念を理解する能力を身につける。	・作品の完成。 ・毎時間の予定の確認と省みる態度。 ・コツコツ積み上げていく能力。 ・制作に関する環境の維持・保全。 ・プレゼンテーション時における他の生徒の作品を正しく評価する態度。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	革細工	革を使ったスマホケースの製作	a:作品が完成している。 ・革の歴史を理解している。 ・革細工の道具を正しく使用できる。 b:アイデアスケッチをたくさん描ける。 ・自分のデザインを表現するための何種類もの革の選択と併せ方を知っている。 ・正確な江戸八本組が組める。 c:安全で安心な作業空間の確保・保全を理解している。 ・オリジナルな作品を作り出す豊かな心を持っている。	・完成した作品 ・期末考査 ・ワークシート	・完成した作品 ・アイデアスケッチ ・革の縫合の精度 ・金具との正確な接合 ・江戸八本組の組紐	・完成した作品 ・ワークシート ・オリジナリティー ・使用に耐える実用性

2学期	金工	天然石の爪留め指輪	a:作品が完成している。 ・天然石の歴史や知識を知っている。 ・金工道具を正しく使用できる。 ・正確なロウ付け技術が身についている。 b:アイデアスケッチをたくさん描ける。 ・オリジナリティーが感じられるデザインを知っている。 c:説得力のあるプレゼンテーションができる。 ・他の生徒の作品を正しく理解する心を持っている。 ・安全で安心な作業空間の確保・保全を理解している。 ・オリジナルな作品を作り出す豊かな心を持っている	・完成した作品 ・ワークシート ・期末考査	・完成した作品 ・アイデアスケッチ ・ロウ付けの精度 ・石留めの精度 ・研磨の精度	・完成した作品 ・ワークシート ・オリジナリティー ・使用に耐える実用性

3学期	革細工	エンボス加工による革のアクセサリー	a:作品が完成している。 ・革製道具が正しく使用できる。 b:アイデアスケッチをたくさん描ける。 ・焼き入れ技法による刻印棒が製作できる。 ・漆の歴史と知識を知っている。 ・金箔や銀箔の歴史と使用法を知っている。 ・オリジナリティーが感じられるデザインが表現できる。 c:説得力あるプレゼンテーションができる。 ・他の生徒の作品を正しく理解する心を持っている。 ・安全・安心な作業空間の確保・保全を理解している。 ・オリジナルな作品を生み出す豊かな心を持っている。	・完成した作品 ・ワークシート ・期末考査	・完成した作品 ・アイデアスケッチ ・オリジナルな刻印棒の製作 ・正確な銀箔の貼り付け	・完成した作品 ・ワークシート ・オリジナリティー ・使用に耐える実用性

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度